

イチョウの黄葉日

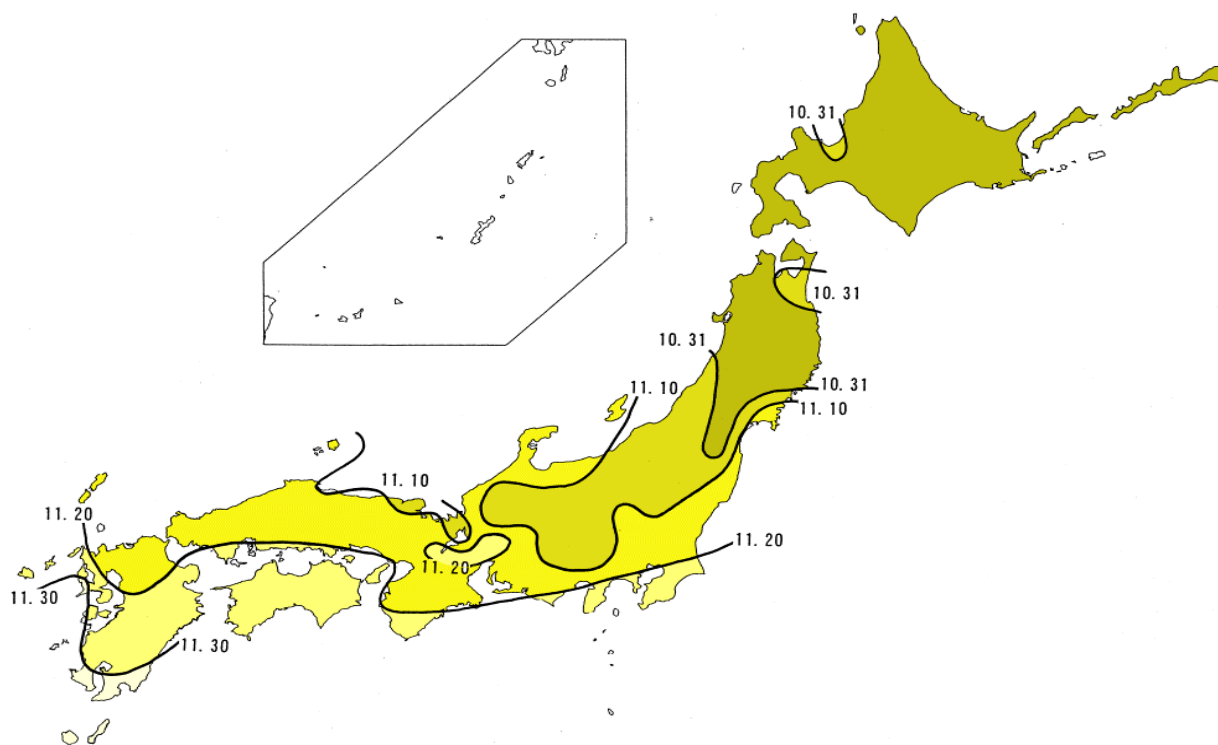


イチョウの黄葉日とは、標本木全体を眺めたときに、大部分の葉の色が黄色に変わった状態になった最初の日をいいます。

イチョウは中国が原産地といわれる落葉高木で、社寺の境内や街路に多く植えられ、食用のぎんなんが実ることからもよく知られた植物です。

イチョウは黄葉の他、発芽日、落葉日を観測しています。

イチョウの黄葉日の等期日線図 (1971~2000年 平年値)



イチョウの黄葉は、10月下旬に東北地方・北海道地方で始まります。11月10日に北陸地方・東海地方・関東甲信地方・東北地方南部を結ぶ地域、11月20日に九州地方北部、中国地方南部、近畿地方・東海地方・関東地方の太平洋側を結ぶ地域に達します。その後、四国地方などを南下し11月終わりに九州地方南部に達します。